

日の里学園の中学生が考案し 日の里で生まれた「ひのさとまんじゅう」を 日の里の皆さまで育てましょう。

これからのお盆の帰省のお土産や、各種お出かけのごあいさつ、仏壇へのお供えなどに、日の里ならではの「ひのさとまんじゅう」をお勧めします。

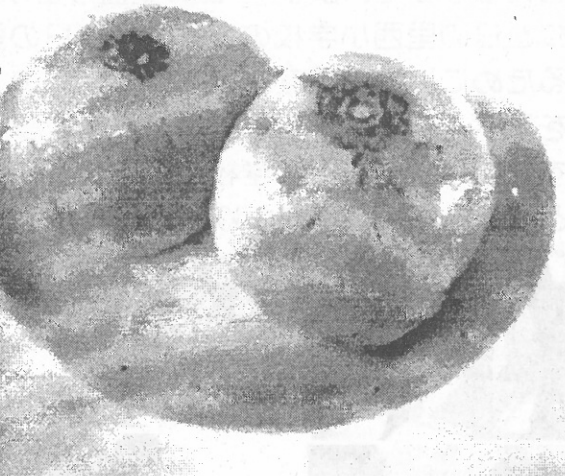
「ひのさとまんじゅう」は、宗像産の大豆を加工したきな粉を使ったまんじゅうと、日の里ファームで育った小松菜を使ったまんじゅうの2種類です。焼き印も、日の里のマークと日の里学園の「ひのたん」マークの2種類です。

このまんじゅうが生まれたのは、3年前の2014年に、日の里活性化の方策について考える会議に参加した日の里中学校の生徒会役員たちが、日の里を元気にするためのアイデアとして、「日の里には土産がないので、まんじゅうを作ってはどうか」と提案したことが始まりです。その案が2年経った昨年、実現することになりました。東郷駅前の空き店舗を改装して「CoCokara ひのさと」をオープンするにあたり、中学生も参加してまんじゅうの試作品を作り、地域の土産物にしようということになり、多くの方々のおかげさまで「ひのさとまんじゅう」が完成し、現実に販売されるようになりました。

昨年11月に行われた「宗像自慢の逸品『M（むなかた）-1グランプリ』」では、最も高い評価を受け、お土産部門で第1位のグランプリに輝きました。

地域活性化のために、この夏、「ひのさとまんじゅう」のご購入をお願いします。2種類6個入りで500円です。駅前の「CoCokara ひのさと」で常時販売致しておりますが、事前にご予約いただくと、確実にご購入することができます。

私たちのまちのお土産を！
地元中学生の発案で完成しました
宗像産の大豆で作ったきな粉と
日の里でできた小松菜を使って
二種類の味ができました。



予約販売連絡先 0940-26-1587
ココカラ運営協議会

なお、8月19日～20日に行われる「日の里まつり」でも、小中学生が作ったTシャツやバッグの販売ブースで、「ひのさとまんじゅう」を販売する予定です。